

出題のねらい・解答例 〔学校推薦型選抜〕

中村学園大学短期大学部〔食物栄養学科〕

【小論文】

〈出題のねらい〉

本学科ではアドミッションポリシーにもあるように、社会で活躍できる栄養士を育成するため、高等学校卒業レベルの教養的知識・技能、語学力ならびに科学的知識を有し、栄養士になるための専門知識・技術を修得する強い意欲があり、協調性や基本的なコミュニケーション能力を身につけている人材を求めている。

小論文では、主に教養的知識・技能、語学力や科学的知識を読み取る力、栄養士になるための専門知識・技術を習得する力を判定している。そのため、栄養や健康、食品に関する文章や統計データを用いた資料を読んで設問に従って論じるほか、関連する英単語、漢字の書き取りを含むことがある。

（その１）

その１では、これまで養ってきた教養的知識や科学的知識を用いて、オルトプロテイン（代替たんぱく質）の背景にある「食料問題」「人口増」「温室効果ガス」などのキーワード、数字を読み取り、設問に適切に記述できるか主に問う形式とした。

問１は、基本的な漢字および英単語を出題した。

問２は、基本的な計算力を評価した。文章中の数字がどのように変化し何倍に増加するのか単純に計算することで求められる。

問３は、シンガポールの例から代替たんぱく質の可能性について読み取り、自分自身の考え・意見を述べることを求めている。論じる視点は、特に絞らず「あなたの考えを」と記載している。これまでの教養的知識や科学的知識、文中のキーワードなどを用いて分かりやすく文章をまとめる力を評価している。

〈模範解答例〉

問１ (1)倫理 (2)発酵 (3)拠点 (a) protein (b) population (c) nutrient (nutrition)

問２ 約7.5（倍）

問３ 評価については、次のことを考慮して総合的に評価した。

- 1) 自分の意見を明瞭・簡潔に示しているか。
- 2) 誤字脱字がなく、示された文字数で丁寧に記述されているか。
- 3) 序論、本論、結論の文章構成になっているか。

（解答例）省略

（その２）

その２では、消費者庁の「消費者白書」から「インターネットの利用に費やす時間の変化」に関する統計資料を取り上げた。

問１～３は、図を読み設問に応じて該当するデータを読み取る力を評価した。問１は、「趣味」の中で２番目に高い回答率が35%であることを読み取り、500人に対する割合を求める。

問４では、全体の図を参考にしながら「通勤・勤務」の増えた業種について、設問に該当するデータからその背景を業種を示して説明する力を評価した。

問５は、全体の図を読み取り「通勤・通学・移動」の時間を増やした人について、理由をつけて説明する力を評価した。

〈模範解答例〉

問１ 175人

問２ インターネットの利用

問３ 外食

問4 巣ごもりによるネットショッピングやフードデリバリーの利用で通販、運輸業の労働・勤務時間が増えた（47文字）

問5 評価については、次のことを考慮して総合的に評価した。

- 1) 具体例を挙げ明瞭に述べているか
- 2) 適切な文章量か
- 3) 誤字・脱字がないか
- 4) 趣旨に沿った内容であるか

（解答例）感染リスクを下げるため、密集しない郊外へ住居を移したり、混雑する公共交通機関の利用を避けたため（47文字）